

35. セリ（セリ科セリ属）

Oenanthe javanica (Blume) DC.

2015年7月

湿地や田んぼ、水路、ため池などに生育する湿地生または水草です。細長い走出枝を伸ばし、節から新芽を出し増殖します。茎は多少枝を出し、高さ20~80cmになります。葉は1~2回3出羽状複葉で小葉は卵形であらゝ鋸歯があります。花は7~8月に径3~5cmの複散形花序をなし、ときに葉と対生します。花弁は白色でときに単性花の雄花をつけます。果実は楕円形で長さ3mmほど、分果は互いに密着して肋は広くコルク化します。分布は北海道、本州、四国、九州、沖縄、千島、樺太、ウスリー、東アジアからインド、オーストラリアです。姫路市においては最も身近に広く生育している植物です。田んぼに侵入すると駆除が困難な強害草となります。春の七草の一つで、食用として1月頃に店頭で見られますが、多くは野生ではなく栽培品種で水耕栽培のものです。野生のものは香りもよく、冬から春にかけての豚バラとの相性がよく、これらを用いたセリ鍋は季節感のある乙なもので、ぜひ食してもらいたい純日本食です。ただし、採集に際しては同所的に生育する毒草であるキンポウゲ科のキツネノボタン (*Ranunculus silerifolius* H.Lév.) やタガラシ (*Ranunculus sceleratus* L.) ウマノアシガタ (*Ranunculus japonicus* Thunb.) と間違えないようにしなければなりません。



セリ



セリの花序



キツネノボタン



タガラシ



ウマノアシガタ